

【MJPM レポート】

ホリデーシーズンに、全国 8 拠点で“おもてなし”

～「ひとまちアンバサダー」が約 500 名でまちに笑顔を届ける～

三菱地所プロパティマネジメント株式会社は、当社が運営管理を所管する物件が所在する拠点のうち、全国8拠点において、12 月のホリデーシーズンにあわせて、まちや施設を訪れる方々への“おもてなし”を目的とした企画を実施しました。

本企画は ESG・SDGsを意識し、地域貢献活動を通じたまちづくりを推進する「ひとまちアンバサダー※1」の取り組みの一環として開催しており、丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町)では 2008 年にスタートし、本年で 17 回目を迎えました。また、2021 年度から全国拠点へ展開を拡大し、今年で 5 年目となり今年は全国 8 拠点約 500 名の参加による開催が実現しました。

丸の内エリアでは、『クリスマス・ミッション 2025～まちに笑顔を届けよう in Marunouchi～』と題し、エリア内に事務所を構える約 32 の企業、約 200 人の就業者がお揃いのユニフォームとサンタ帽をかぶり、地域貢献活動を行うことに加え、チームで協力してミッションをクリアする「チームビルディング」の要素を取り入れたことで、就業者間の交流を深めるきっかけを提供しました。

当日は、参加者が「ごみ拾い」「来街者へのギフト配布」「フォトスポット撮影」の 3 つのミッションに挑戦。時間内に複数ミッションをクリアして獲得するポイントを競いました。ギフト配布には、事前にエリア就業者から集めた約 42,800 個(85.6kg)のペットボトルキャップをアップサイクルしたオリジナルキーホルダーを採用した他、全 15 カ所のフォトスポットを巡るなど、廃棄物再利用の意識啓発、地域貢献、そして企業間交流を楽しむ盛況なイベントとなりました。

また、仙台・横浜・名古屋・福岡と、首都圏の汐留・四谷・北千住の 7 拠点では、三菱地所グループ社員やそのご家族、また、入居テナント、協力会社のみならず、当社の所管物件や周辺地域のクリーンアップやお菓子配り、館内の練り歩き、ポインセチアの配布等、今年も各地にあった形で、お客様に快適にお過ごしいただけるよう、おもてなしを行いました。

今後も、当社では本企画をはじめとした、「ひとまちアンバサダー」の取り組みを通じて、まち・ビル・施設を利用される方々へのおもてなしとともに、ごみ問題や環境配慮など、私たちの生活に欠かすことができない SDGs について考え、実践する機会を創出し、活動を推進してまいります。





▲中部エリア(名古屋ビルヂング・中日ビル)



▲九州エリア(MARK IS 福岡ももち・COCOSA)

▲汐留(汐留ビルディング)



▲仙台(定禅寺通り・泉パークタウン タピオ&仙台泉プレミアム・アウトレット)



▲四谷(コモレ四谷)

▲北千住(ポンテポルタ北千住)



▲丸の内エリア(左から:クリーンアップ、まちを楽しむ Tips、ペットボトルキャップから作ったオリジナルキーホルダー)



ひとまちアンバサダーとは※1

「ひとまち」とは、お客様をはじめとする“ひと”や、私たちが携わる“まち”への想いを、日々の行動や取り組みの中でカタチにしていけるための共通のシンボル(想いの象徴)です。

この「ひとまち」と、三菱地所グループのブランドスローガン「人を、想う力。街を、想う力。—私たち三菱地所グループは、チャレンジを続けます。」に込められた共通の想いを、多様なステークホルダーの方々と共に体現していく役割を担う三菱地所グループ社員を「ひとまちアンバサダー」と称し、「ひとへの想い」を通じて、「まちに笑顔」を増やすために、事業活動を通じて持続可能なまちづくりを共創する取り組みを行っています。HP:<https://www.mjpm.co.jp/company/sustainability.php>

